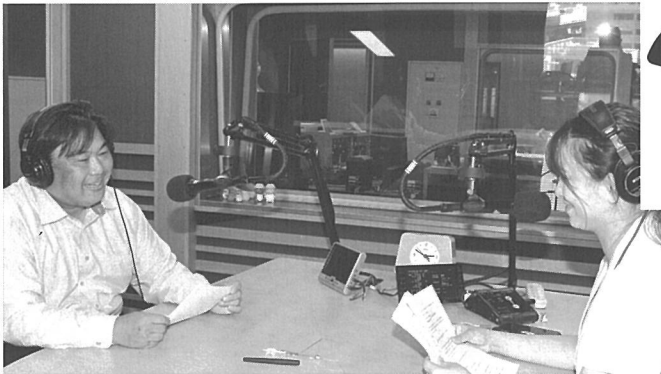


名古屋支部

5月30日 エフエム愛知から
ごみゼロ (530) 推進の啓発活動



収録中の永井支部長（左）と高橋萌パーソナリティー（右）



F M愛知 80.7MHz（豊橋 81.3MHz）
「DAYDREAM MAGIC」内で放送



緊張が解け、にこやかな収録後の様子

名古屋支部（永井弘児支部長）では、5月30日「ごみゼロの日」に、マスメディアを活用し不法投棄防止啓発のメッセージを発信しました。

ここ数年はラジオ放送にてメッセージを送らせていただいております、今年は（株）FM愛知「DAYDREAM MAGIC」の中で、永井支部長とパーソナリティーの高橋萌氏が不法投棄防止に向けての活動を紹介しました。

放送日は5月30日午後2時頃ですが、今回は5月29日（水）にFM愛知のスタジオにて収録が行われました。

収録前の打ち合わせでは、FM愛知のビジネスプロデュース部副部長の杉原宗二郎氏に、（一社）愛知県産業資源循環協会（以下「愛産協」という。）の概要、活動等について永井支部長が説明しました。

その後、原稿内容の確認等が行われスタジオに入り、高橋パーソナリティーと読み合わせが始まりました。始めは緊張気味の永井支部長でしたが、収録がスタートした途端いつも通りになられ、愛産協発

足の経緯、3R、適正処理の推進、これからの環境社会の成熟に向けての取組等について話しました。

また、名古屋市とともに地元住民を交え、令和4年度、5年度の災害廃棄物仮置場設置・運営訓練の実施事例や、環境省・愛知県・名古屋市との藤前干潟不法投棄ごみ撤去作業（平成27年より実施）についても話しました。

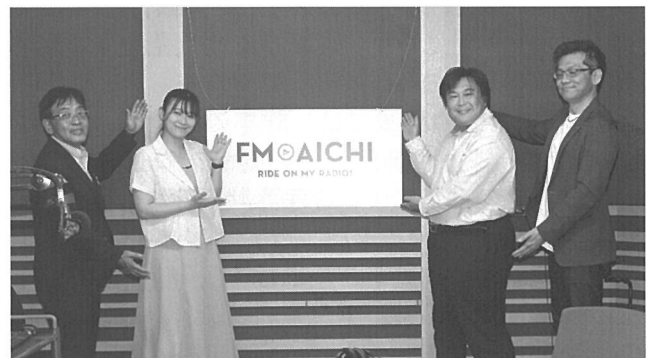
他には、法令講習会、施設見学会による会員の意識啓発を図る事業の開催、SDGsへの取組や環境教育が行われていることを伝え、最後に永井支部長は「私たちは関係行政機関、排出事業者、市民の皆様の協力を得て、環境保全に全力をあげて取り組んでいます。是非、一緒に産業廃棄物の不法投棄防止の取組にご協力をお願いします。」と締めました。

ラジオによる啓発活動は、昨年に引き続き平野範之会計（フルハシEPO（株））が放送局との折衝にご尽力いただき、一般の方にも名古屋支部の活動を知らせていただける良い機会となりました。



収録前の打ち合わせ風景

左から 豊田経済新聞編集長 小笠原禎志氏、（株）エフエム愛知ビジネスプロデュース部副部長 杉原宗二郎氏、名古屋支部支部長 永井弘児氏、同支部副支部長 浅井 明利氏、同支部会計 平野範之氏



収録後の記念撮影 左から 平野会計、高橋パーソナリティー、永井支部長、浅井副支部長